



高野山大学・せとうち観光専門職短期大学  
連携協力に関する包括協定締結式

少しずつかえってきた にぎやかな日々



# 高野山大学

87

## 講師派遣制度をご利用ください

各機関(本山・宗団・同窓会・宗務支所・高野山真言宗寺院)さまへの、本学教員の講師派遣は大学公務として取り扱っております。

- 【講師派遣お申込み手順】
1. 高野山大学公式ホームページの[高野山大学の概要]「講師派遣」から、「講師派遣依頼フォーム」より、必要事項(ご希望の講師名、日時、場所、講演テーマ等)を記載の上お申込みください。
  2. 講師との調整がとれ次第、依頼主さまへ折り返しご連絡いたします。  
※「講師派遣依頼書」を提出していただく場合もあります。

- 【注意事項】
1. 講演料(手取り額)  
60分 ¥20,000  
90分 ¥30,000  
※講演料のみを直接講師に手渡ししてください。
  2. 交通費・宿泊費は、本学にて負担します(「高野山大学旅費規程」による)。
  3. 講演が複数日あるいは長時間にわたる場合の条件は、講師と直接調整してください。
  4. 大学を経由せずに、直接講師に依頼する場合は、この申し合わせの対象外とします。  
※講師派遣依頼のお申込みは、HP掲載の様式をお使いください。



こちらのQRコードからもアクセスできます。>>

## 寄付金のお願い

高野山大学では、同窓生をはじめ、皆様からの寄付金を募集しております。これは、現在取り組んでいる、高野山霊宝館との連携や遠隔授業の本格的取り組みなどをはじめ、大学での教育・研究活動の充実と質の向上を目的とした寄付金の募集でございます。

- 頂戴いたしました寄付金は
- 大学の設備・備品費などの諸経費
  - 地域との連携事業の経費
  - 合理的配慮の支援
- などに用いさせていただきます。
- 高野山大学では、学生や社会に選ばれる大学を目指し、「魅力ある大学づくり」をキーワードにこれからも様々な教育改革に取り組んでまいります。
- 皆様におかれましても、高野山大学への引き続きのご支援をこころよりお願い申し上げます。
- この趣旨に賛同していただける方は、お手数をおかけいたしますが、高野山大学総務課(電話0736-56-2921、FAX0736-56-2746)までご連絡ください。
- ご連絡をいただきました方には、大学から、
- 寄付申込書
  - 寄付金用振替用紙
  - 返信用封筒
- をお送りさせていただきます。なお寄付金は、一口2,000円以上とさせていただきます。
- 皆様のご支援とご協力を、重ねてお願い申し上げます。

【ご注意】  
今回の学報に同封しております振替用紙は、同窓会費の振替にのみご利用下さい。

## 2023年度 入学者選抜概要

### 選抜(入試)日程(密教学科・別科)

※合格発表は本人宛郵送と本学にて掲示(10:00)。

試験種別	出願期間	試験日	合格発表
総合型選抜Ⅲ期	1月10日(火)~1月25日(水)消印有効 事前説明会12/2(金)~1/12(木)	2月4日(土)	2月10日(金)
一般選抜Ⅰ期	1月10日(火)~1月25日(水)消印有効	3月11日(土)	3月17日(金)
一般選抜Ⅱ期	2月10日(金)~3月1日(水)消印有効	3月22日(水)	3月24日(金)
一般選抜Ⅲ期	3月3日(金)~3月15日(水)消印有効	3月11日(土)	3月17日(金)
社会人選抜Ⅱ期	1月10日(火)~1月25日(水)消印有効	2月4日(土)	2月10日(金)
留学生・留学生編入学 選抜Ⅱ期	2月10日(金)~3月1日(水)消印有効	3月11日(土)	3月17日(金)
編入学・社会人編入学 選抜Ⅱ期	1月10日(火)~1月25日(水)消印有効	2月4日(土)	2月10日(金)
編入学・社会人編入学 選抜Ⅲ期	3月3日(金)~3月15日(水)消印有効	3月22日(水)	3月24日(金)
別科選抜Ⅱ期	2月10日(金)~3月1日(水)消印有効	3月11日(土)	3月17日(金)

### 選抜(入試)日程(教育学科)

※合格発表は本人宛郵送。

試験種別	出願期間	試験日	合格発表
一般選抜Ⅰ期	1月10日(火)~1月25日(水)消印有効	2月4日(土)	2月10日(金)
一般選抜Ⅱ期	2月10日(金)~3月1日(水)消印有効	3月11日(土)	3月17日(金)
一般選抜Ⅲ期	3月3日(金)~3月15日(水)消印有効	3月22日(水)	3月24日(金)
社会人選抜Ⅱ期	1月10日(火)~1月25日(水)消印有効	2月4日(土)	2月10日(金)
編入学・社会人編入学選抜Ⅱ期	1月10日(火)~1月25日(水)消印有効	2月4日(土)	2月10日(金)
編入学・社会人編入学選抜Ⅲ期	3月3日(金)~3月15日(水)消印有効	3月22日(水)	3月24日(金)

### 大学院(通学制)選抜(入試)日程

※密教学専攻、仏教学専攻

通学制	出願期間	試験日	合格発表
大学院選抜Ⅱ期 修士課程(博士前期課程コース・社会人コース・僧侶コース) 博士後期課程	1月27日(金)~2月17日(金)消印有効	2月25日(土)	3月3日(金)

### 大学院(通信制)選抜(入試)日程

※密教学専攻

通信制		出願期間
大学院選抜Ⅱ期		1月9日(月)~1月23日(月)消印有効
一次選考合格発表日	二次面接	合格発表
2月2日(木)	2月25日(土)	3月3日(金)

試験の詳細は  
大学ホームページから>>



# 高野山大学 密教学科 密教文化コース

オンラインで受講可能な  
社会人向けコースが  
誕生

人生100年時代の学び

**オープンキャンパス**  
難波サテライト教室・オンラインで  
開催予定!  
1/22(日)・2/19(日)

社会人編入学選抜が対象です。  
試験日程は裏表紙に記載。

[密教学科・密教文化コースの特徴ある学び]

### 歴史に学ぶ

- 密教の歴史
- 中世日本と真言密教
- 歴史学

### 思想に触れる

- 仏教入門
- 弘法大師の著作を読む
- 真言密教の死生観

### 文化に親しむ

- 日本文化と仏教
- 書道/仏画
- 巡礼・遍路

### 生活に活かす

- 密教とスピリチュアルケア
- 密教瞑想法
- 真言密教の儀礼

卒業要件	64単位以上
授業形式	ライブ配信またはオンデマンド配信 (一部対面授業あり)
教育課程	文学部 密教学科
標準年限	2年(長期履修制度あり)
取得学位	学士(文学)
募集対象	25歳以上の社会人

## 高野山大学シンポジウム 「科学と医学と宗教」

シンポジウム「科学と医学と宗教」が11月3日(木)に高野山東京別院で開催され、当日は会場となった本堂での対面形式と、Zoomを通したオンライン形式の参加で約60人が参加しました。

講演パートでは東京大学先端科学技術研究センター(先端研)教授で本学客員教授の神崎亮平先生、株式会社新日本科学代表取締役会長兼社長で本学客員教授の永田良一先生が登壇。神崎先生は「見える世界、見えない世界」の演題で、様々な生き物により世界の価値が変わる環境世界の多様性と、人間も自然の一部として生き物との関係性の中で生きている自然中心の視座について講演し、永田先生は「病気になることも幸せに生きよう」と題し、自分を大切に、そして家族や周りを大切にしたいという欲の持ち方と欲を叶えるための取り組み方など自身の経験をもとにした幸せの法則について語られました。

パネルディスカッションには神崎先生、永田先生とともに高野山真言宗務総長の今川泰伸先生と添田学長がパネラーとして参加しました。シンポジウムのタイトル通り、科学と医学と密教のそれぞれの立場から科学が解き明かす「見えない世界」と科学では解明できない領域の見方、密教の考え方とこれからの科学の発展の結びつきについて議論を交わしました。

参加者からは「密教の教えは現代では今後どのように活かされていくのでしょうか」「(先端研は)なぜ高野山で連携協定を結ぼうと思ったのですか」など鋭い質問も寄せられました。



## 教育シンポジウム 「教育の未来—デジタルとの融合—」

10月8日(土)、教育学科の開設2周年を記念したシンポジウムが河内長野市立文化会館(ラブリールホール)において開催されました。「教育の未来—デジタルテクノロジーとこの融合—」をテーマに、急激に進化するテクノロジーを受け入れながら、人がより幸せに生きるために私たちに何ができるかという問いを、教育関係者や地域の皆さんとともに考えました。

基調講演には、文部科学省初等中等教育局担当の安彦広斉審議官とエドテックの第一人者であるデジタルハリウッド大学の佐藤昌宏教授を招き、お二人に「デジタルテクノロジーの進化で教育がどうかわろうとしているのか」について基調講演をいただいた後、大阪府教育庁の柴浩司教育監と本学の添田学長を交えたパネルディスカッションで、熱心に議論を繰り広げました。

このシンポジウムは、2回生を対象とした「キャリアデザインII」の授業とコラボレーションしたものです。8月に行われた集中講義では、前半は佐藤昌宏教授を講師にテクノロジーの活用で劇的に進化する教育について考え、後半は高野山霊宝館前館長でもある山口文章本学事務局長のもと、テクノロジーの進化の中で子どもたちがより幸福に人生をおくるために、何が必要なのかを学びました。

フロアーからも熱心な質問が続き、全体を通して「デジタルイノベーションはどんどん進化して、遅れていた教育の世界にも入り込んでくること」「ただ機械は自分では考えられない。機会に指示するのは人間であり、だからこそ人間の心が必要であること」、「それを育てるのが教育の力で、ますます教育が大切になること」が確認されました。

また「難しいけれど、こころの教育の問題に取り組んでいかなければならない」ことを参加者の皆様と共有することができました。



## 密教学芸賞に藤村隆淳先生

第60回密教学芸賞に、本学名誉教授の藤村隆淳先生が選ばれました。

藤村先生は本学大学院修了後に助手に着任。2007年から4年間学長を務められました。また、インド仏教の伝文学である「マハーバスター」の研究に取り組み、集大成として「マハーバスターの菩薩思想」を発表しました。その他様々な研究により密教学術奨励賞を2度受賞、現在も日本密教学会、日本仏教学会などで理事を務め、学術の進展に寄与されています。

受賞式は10月11日(火)、大本山須磨寺で行われました。



## 令和4年度叙勲 村上保壽先生・帯野久美子先生が受章

令和4年度春の叙勲、秋の叙勲で本学名誉教授の村上保壽先生が瑞宝中綬章、本学特任教授の帯野久美子先生が旭日双光章を受章されました。

帯野久美子先生は1985年に株式会社インターアクトジャパンを設立。大阪府、和歌山県の各種委員会で委員を務め、2004年に大阪府人事委員会委員長に就任し、その後も全国人事委員会連合会副会長、中央教育審議会専門委員などを歴任されました。

2013年からは文部科学省中央教育審議会委員を3期にわたり務め、本学では2021年から本学教育学科の特任教授として学生を指導されています。

村上保壽先生は1990年に密教文化研究所教授に着任。1995年に文学部教授となり、2001年に本学副学長に就任し、退職後の2008年に名誉教授となりました。

研究分野では日本密教学会、日本仏教学会などに所属し、東北哲学会常任委員、密教研究会会長、印度学宗教学会評議員を務められました。また、2000年に密教学芸賞、1996年と2005年に密教学術奨励賞を受賞し、学術の発展にも寄与しました。

## 方便を究竟とする

明けましておめでとうございます。皆様にはご健勝にて新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨秋、台湾にごさいます仏光山大学主催の「大学教育における慈悲」というシンポジウムに参加を要請されました。仏光山は尼僧の星雲大師によって創設された台湾を代表する仏教教団で、世界各地で大学や病院を運営し、日本にも別院がごさいます。東北大地震に際して台湾から多額の義援金が寄せられました。募金活動の中心となつてくさいます。

本学の学生も震災の後、住宅からの泥の吹き出しや、家具の搬出のお手伝いに参加させていただきましたが、ある学生は、自分が高野山大学から来た僧侶であることを知った被災者から合掌されたという体験を語ってくれました。利他行の根本にありませう慈悲心は、机の前で経典を読み、祖師の行裏を学習するだけでは発露するものではなく、現場に立つて、被災者と共に汗を流すことによつて確実なものになるのではないのでしょうか。

一人の利他の行為によつて為し得ることはわずかですが、巨大災害の前で立ちすくむ人にとっては、必須のものであります。「菩提心を因とし、大悲を根とし、方便を究竟とする」と言う大日経の言葉をかみしめ、今後とも、学生諸君には「方便究竟」たる現場に立つてもらいたいものです。



高野山大学 学長  
添田 隆昭

## インド・チベット密教注釈文献の研究



密教学科 准教授  
菊谷 竜太

八世紀から十三世紀のインド世界。ヴィクラマシーラ・ナーランダーといった大僧院を拠点に顕密双方に秀でた学僧たちが活躍し、チベット後伝期における仏教復興活動にも大きな影響を与えました。名だたる学僧のうち、さきの二寺院に加えてヴァジュラーサナ(金剛宝座)僧院長をも兼務した人物こそ、律師にして大学者(マーバンデイタ)と称されたアバヤーカラグプタ(無畏護・二世紀頃)です。一九〇〇年を超えるインド仏教の叡智を総合すべく、認識論論理学が発達した後期の唯識・中観思想を網羅するとともに当時百種類以上を数えた曼荼羅を基本二十六形へと整理し、自分の著作を中心に積極的にチベット世界へと移植しました。密教百科全書の注釈『アームナーヤマンジャリー(口伝のつぼみ)』ではスコラスティックな彼の学識が存分に発揮され、まさしくインド仏教終結点における学知の結晶といえるでしょう。

てきました。一部を除外を除き、原典の全容は明らかにされていませんでした。しかしながら二〇一七年に梵蔵パリンガル写本が発見されたことにより状況は一変しました。新たに見つかったこの写本は全四十章のうち前十七章を含むもので、全体の約半分に相当します。わたしは前職の京都大学白眉センターにて『アームナーヤマンジャリー』第一章の校訂・訳注を中心とした国際的な研究プロジェクトを開始し、今春高野山大学に拠点を移してからも継続的に従事しています。

『アームナーヤマンジャリー』をはじめ後期インド仏教の注釈文献には長い歴史のなかで仏教がそれまで積み重ねてきた学知が集約されており、チベット世界にも大きな影響を与えました。このような注釈文献を紐解くことは単に仏教の教理を理解するということだけでなく、とりわけ密教においては音声・伝統文学、医学・薬学、建築学・測量術、天文・暦学・数学、性愛学、暗号解読などさまざまな周辺領域に関する知識が欠かせません。インド・チベット密教注釈文献を研究することはまさしく学際的な領域に足を踏み入れ、未知の学問を切り拓くことだといえるでしょう。



教育学科 准教授  
溝渕 淳

## 「社会」的動物としての人間における「福祉」の営みの研究

福祉には子どもや高齢者、障がいのある人など多様な分野が存在しますが、私は特定の分野ではなく、それら全てに共通する支援技術の理論を研究しています。日本における福祉の支援技術は、アメリカでの実践を無分別に取り入れたものがほとんどです。そのため、日本の風土や文化に根ざした「生きづらさ」に適切に対応できていないのが現状です。そこで「日本独自の支援技術を」と考えたくありませんが、私はむしろ、国家や社会がどのような状況にあっても、人が人を支えるという営みには共通の原理があるはずで、それを明らかにすることが重要だと考えています。結果、社会福祉ではなく、「人間福祉」とでも表現するのが適切であるようなテーマに研究の焦点を置くようになりました。

人間を中心に据えて現代社会の福祉を分析してみると、制度・政策や実践が、福祉の名のもとで逆に差別を助長したり、一部の人がより生きづらくしたりする...といった矛盾に気づかれます。現在私は教育学科に所属しています

が、教育の分野でも同じことが言えるでしょう。すなわち、教育の名の下で逆に子どもが...というわけです。その一方で、人間福祉を追究すればするほど、人間が他者との関わりの中でしか生きられない「社会的動物」であるという、シンプルな事実に向きあわざるを得なくなりました。今後は、「社会的動物としての人間において、他者と支えあうという営みがプライマリーなものである」ということを前提としたとき、福祉に携わる専門職がどのような考えのもとで、どのような実践を展開するべきであるのかについて、具体的に提示していきたいと考えています。

少し前には人から「専門は？」と尋ねられた際、言いよむことも多かったのですが、現在では「周回って「社会福祉」と答えられるようになってきました。ただしその意味するところは、「特定の国家や社会における福祉の制度や政策、実践などに関する研究」ではなく、「『社会』的動物としての人間における『福祉』の営みの研究」ということになります。

## 教育学科の授業風景

### 幼稚園小学校の教育活動を現場で体験し、大いに学ぶ

教育学科の学生には、第2、第4タームに小学校と幼稚園に赴き、学校や園の現状を目の当たりにしながら学ぶ「学校保育現場体験」の機会があります。河内長野市内の小学校のみの体験でしたが、今年度は幼稚園と小学校で体験学習を行いました。



教職支援センターでのオリエンテーションで現場体験に臨む際の心得と諸注意を受けた後、学生はそれぞれの体験先に出かけました。幼稚園や小学校では、登園・登校する児童を迎える朝のあいさつ活動、授業見学、児童と中休みの外遊び、一緒に給食を頂き、清掃をし、プリント配布の支援、掲示物の貼付作業、下校のサポート等、教員の忙しい業務を体験しました。初夏だったため、水泳指導の補助をした学生もおり、水泳の授業の苦勞やチームで働く重要性を痛感しました。学生は「疲れたけれど、よかったです」「子どもたちと触れ合えて、先生になる意思が固まった。」との感想や、自分の幼少期とは異なる小学校の環境から、「タブレットを使えるようになっていない」と、自分で課題を見つけて、早速取り組む学生もいました。現場では、講義で学びきれない貴重な体験をし、それぞれが充実した時間を過ごしたようです。

### 「舞台づくり」の向こうにー2回生地域体験

「そのセリフ回しでは弁護するよう聞こえない。寄り添うような言い方がいいのではないの?」「セリフの練習は一人練習ではなく、ペアでやろうよ。相手の感情に合わせやすいから。」「このセリフの感情の入れ方がもう一つわからない。どうしたらいいの?」など言いながら、自主練習をしている姿があるのは、2回生「地域体験」第3タームでのひとコマ。今年から文化活動として「舞台づくり」の講座が始まりました。

この講座の目的は、役者と裏方の仕事を体験することで非認知能力を高めることと、この経験を先生になった時に活かせるようにすることにあります。授業の前半はより創造芸術高等学校の山上祐輝先生指導のもと呼吸法、発声法、ストレッチ、ストリート系ダンスの動き、演技台詞練習、エチュードなど基本練習をみっちり行い、後半は役の練習だけでなく、舞台裏の仕事それぞれが受け持つ責任を持って準備をしていきました。はじめのうちはお芝居に対する不安やぎこちなさもありましたが、回を重ねるごとに各自が工夫して課題に向き合えるようになっていきました。成果発表会は、キックス(河内長野市立市民センター)の舞台で11月15日に行われました。



## 東京別院で公開講座「密教文化コース説明会」

10月16日(日)に、高野山東京別院奥書院で密教文化コース開設に伴う公開講座と説明会を開催しました。参加受付当初から多くの方にお申込みやお問い合わせをいただき、当日は会場とオンラインで合わせて60名近くの方に参加いただきました。

櫻木潤准教授による講義「現代に通じる空海の教え」では弘法大師空海が活躍した奈良・平安時代の疫病の歴史と弘法大師空海の足跡、そして新型コロナウイルスが流行している現代にも生きる教えについて紹介。密教文化コースの説明会ではオンライン講義のデモンストラーションや開講予定の講義などについて説明がありました。

また、12月11日(月)に難波サテライト教室で開催したオープンキャンパスにはオンライン参加も含め160名近い申し込みがありました。



来年度開設の密教文化コースは、通学に加えてパソコンやスマートフォンからも受講できるオンライン形式の授業を開講し、仕事や距離といった事情で通学が叶わない方にも広く学んでいただける社会人編入学を対象とした新しいコースです。オープンキャンパスは1月、2月にも開催予定です。詳細はホームページに随時お知らせいたします。出願日程などの詳細は裏表紙の「2023年度入学者選抜概要」をご覧ください。

## 3年ぶりの「曼荼羅祭」

高野山キャンパスで11月6日(日)に学園祭「曼荼羅祭」が開かれました。新型コロナウイルスの影響で昨年、一昨年は中止しており、3年ぶりの開催。例年は2日間の日程で行っていましたが、今年は規模を縮小して1日だけの曼荼羅祭となりました。

学内には行道部による御朱印の授与コーナーの他キッチンカーも並び、茶室では裏千家茶道部によるお茶会も開かれました。今年は教育学科の学生も初めて参加し、スパーボールすくいと射的を催し、宗教教育部の缶バッチ作り体験とともに訪れた子どもたちでにぎわいました。松下講堂黎明館では書道部と仏



画選択生の授業で制作した作品が並び、ホールでは和歌山県立向陽高校吹奏楽部のコンサートが開かれ「Paradise has NO BORDER」となるのトロトロメドレー」などを演奏し会場を盛り上げると、最後は恒例の豪華賞品が当たるビンゴ大会で締めくくりました。

第95回学位記授与式

第95回学位記授与式を9月14日(水)に挙...



宗教教育行事

夏季加行
夏季休業期間中に真別処田通律寺において令和4年度夏季加行が行われました。

伝法灌頂

伝法灌頂が10月31日(水)から11月2日(水)にかけて寶壽院道場にて開壇されました。

教職員先輩物故者追悼法会

11月21日(月)に松下講堂黎明館において本学教職員並びに先輩物故者追悼法会を執り行いました。

せとうち観光専門職短期大学と包括連携協定を結びました

高野山大学は香川県にあるせとうち観光専門職短期大学と包括連携協定を締結しました。



高野山大学・せとうち観光専門職短期大学 連携協定に関する包括協定締結式

環境的な困難を「参加者-friendly」にした教育学科オープンキャンパス

2022年度の教育学科オープンキャンパス(以下OC)は、学科設立2年目の新たな試みとしてOC参加型選抜を導入しました。



高校生も社会人も! 密教文化コースオープンキャンパス

高野山キャンパスでは、7月17日(日)と8月25日(木)にオープンキャンパスを行いました。



日録 令和4年7月~12月

Calendar table with dates and events from July to December.

第17回フジキン小川修平記念講座講演会のご案内

「第17回フジキン小川修平記念講座講演会」は本年度も講演動画をホームページにて配信いたします。

寄付金御礼

- List of donors and amounts: 隆光寺 山本 弘詔様 百万円, 長法寺 高木 光達様 十万円, etc.

メールアドレスの登録にご協力ください

高野山大学では、同窓会員や卒業生の皆様メールアドレスの登録をお願いしています。

